

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	簡易点検
事務事業名	災害時救急医薬品等備蓄事業	シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局 健康 部 保健所 保健医療 課	評価責任者(課長名)	藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無	
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)					
	4	関連計画	地域防災計画				
5	事業実施の経緯	今後起こりうる南海トラフ巨大地震等の災害に際し、被災者に対し迅速かつ確に、必要とされる医薬品等を供給することができるよう医薬品等の物資の確保をはじめ、必要な準備を行うこととなった。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	医薬品等を必要とする被災者			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	大規模災害が発生した場合等において、被災者に対する迅速かつ確な医療的救済を図るため、必要とされる医薬品等を確保すること			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	委託先に対して以下の内容を委託する。 (1) 流通在庫を活用した医薬品等の備蓄及び供給 災害時に必要とする医薬品を流通備蓄の方法により備蓄し、災害時に市の指定する救護所等への配送を行う。 (2) 備蓄場所の指定 堺市薬事総合センター及び一般社団法人堺市薬剤師会会員薬局にて備蓄を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般社団法人堺市薬剤師会				

Ⅲ. 投入量

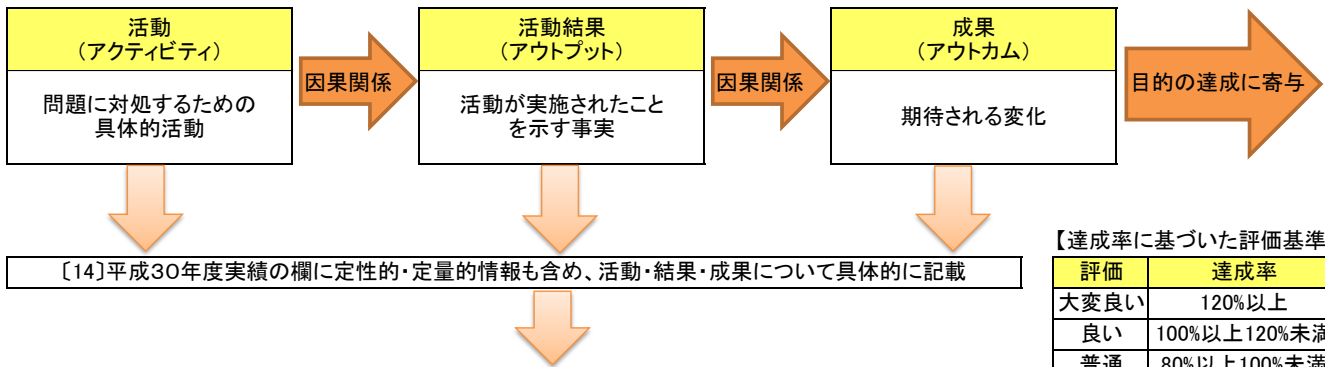
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	767	767	767	776	
	主な事業費内訳	災害時救急委託料	千円	767	767	767	767
		消耗品費	千円				9
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	767	767	767	776
	12	人件費 (b)	千円	820	820	820	810
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,587	1,587	1,587	1,586	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	災害時救急医薬品等備蓄事業	シート番号	11-214
-------	---------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績					
活動実績と成果	14	堺市薬事総合センター及び一般社団法人堺市薬剤師会会員薬局にて災害時に必要とされる医薬品等の確保を行った。 品目：406品目 薬局数：278薬局					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		災害時に市内で必要と想定される分の医薬品を備蓄できたか。	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100%	100%	100%	
	評価	良い	良い	良い			
	算出方法・設定根拠など		本市が指定する備蓄量を備蓄されていれば1とする。				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		災害時、負傷者に医薬品供給した人数	目標値	—	—	—	—
			実績値	0	0	0	
達成率			—	—	—		
評価	—	—	—				
算出方法・設定根拠など							

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	大規模災害が発生した際に、負傷者に迅速かつ適確に医療的救済を図ることを目的とし、必要とされる医薬品等を流通備蓄の方法により確保している。そのため、いつ災害が起こったとしても医薬品等を確保できるよう堺市薬剤師会と調整を行っている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。